

23-08-25

東岡崎駅北口地区第一種市街地再開発事業の認可について

名古屋鉄道は、名古屋本線・東岡崎駅の北口および南口周辺を対象エリアとした一体的な再開発計画を推進しています。その中で、北口にて名鉄都市開発と共同で進めている第一種市街地再開発事業について、8月25日、岡崎市より事業認可されました。

詳細は、下記のとおりです。

記

1. 北口再開発計画の方針

現在の駅ビル(東岡崎駅ビル)を解体し、駅直結の商業および事務所機能を有する複合施設を整備するほか、バスターミナルを再整備することで、交通結節点としての役割を強化するとともに、まちの賑わい創出につながる施設開発を実現します。

駅利用者および来街者をターゲットとし、まち周辺への回遊起点として観光ニーズにも対応した店舗や、電車やバスの乗換え時間等のすき間時間を有意義に過ごせるような店舗誘致を計画しています。さらに、イベント等多目的に活用できるスペースを、岡崎市と連携しながら一体的に整備していきます。

また、先行して開発を進めている南口商業施設とも連携を図りつつ、まちへ開かれた施設づくりを目指します。



施設完成イメージ図
(北西より)

2. 施設概要

所在地 愛知県岡崎市明大寺本町四丁目 70 他
敷地面積 約 5,830 m²
規模面積 地上 9 階建 延床面積約 14,000 m²
用途 バスターミナル、公益施設、商業、事務所 等
その他 第一種市街地再開発事業として施行
施行者 名古屋鉄道株式会社、名鉄都市開発株式会社
着工 2027 年度内
竣工 2029 年度内



○再開発計画全体コンセプト

「ス イ ン グ ヒ ガ オ カ SWING HIGAOKA」ーこの街の躍動的なリズムをリードするー

※ SWING…ジャズ用語。ジャズ特有の躍動的なリズム感。また、そのリズムに乗ること。

岡崎市には、世界的に類を見ない貴重なジャズレコード、雑誌、オープンリールテープなどが所蔵されており、また、国内有数のジャズイベントが開催されるなど「ジャズの街」として広く知られています。

「SWING(スイング)」が持つポジティブな意味合いを踏まえながら、同市が取り組む一連のまちづくり戦略と連携し、本計画を通して駅施設を起点とした躍動的なリズム(人の流れ)を作り出し、地域の個性を引き立てます。

また、コロナ禍によって変化したお客さまの消費行動ニーズを捉え、岡崎の玄関口として賑わいを創出し、地域一体になったまちづくりを推進していきます。

○岡崎市の取組み

《公民連携プロジェクト HIGAOKA ロゴの作成》

岡崎市は、東岡崎駅周辺のまちづくりが始動するのに先立ち、公民連携を証するまちづくりロゴマーク(HIGAOKA ロゴ)を作成しました。ロゴには、「つながりの場所」「多世代に伝わる包摂的なやさしさ」となどの意味が込められています。



○南口エリアの概要

所在地	愛知県岡崎市明大寺町耳取 14-5 他
敷地面積	地上 3 階建 延床面積約 3,000 m ²
用途	食物販、物販、飲食、サービス 等
テナント数	約 15 テナント(予定)
開業時期	2024 年春(予定)
備考	2023 年 5 月 17 日着工



《施設完成イメージ図(外観・南東より)》

南口エリアに関するリリース

https://www.meitetsu.co.jp/profile/news/2023/_icsFiles/afieldfile/2023/05/15/higaoka.pdf

以上